

## 北海道新幹線 潜入！現場レポート ～掘削工事が進む札幌トンネルから～

鉄道・運輸機構（JR TT）が整備主体として、令和12年度末（2030年度末）の完成を目指して工事を進める北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）。

同新幹線で最も札幌方に位置し、小樽市と札幌市にまたがる全長約26.2Kmの札幌トンネルは、市街地の地下に位置し、住宅密集地を通る技術的に難易度が高いルートです。

今回は整備新幹線では初めてとなるシールド工法など、市街地における工事の様子をYouTubeでご紹介します。

市街地の地下を掘削する札幌工区では、整備新幹線で初めてとなるシールド工法を採用しています。シールド工法とは、都市部の軟弱な地盤において、地上に影響を与えることなく、シールド機で掘り進めながらトンネルを組み上げていく工法です。

環境にも配慮しながら、安全に留意して工事を進める最新の現場レポートを、シールドマシンや、実際のトンネルの中の様子など、迫力満点の映像をお届けします！



札幌トンネル（星置工区）

【斜坑】



【濁水処理施設】

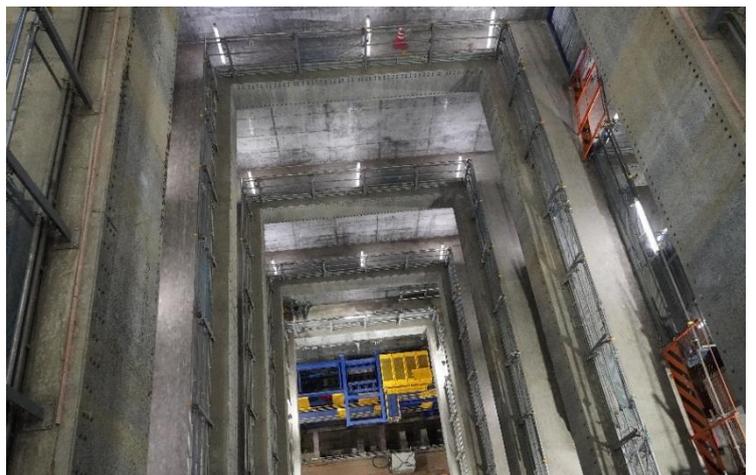


札幌トンネル（札幌工区）

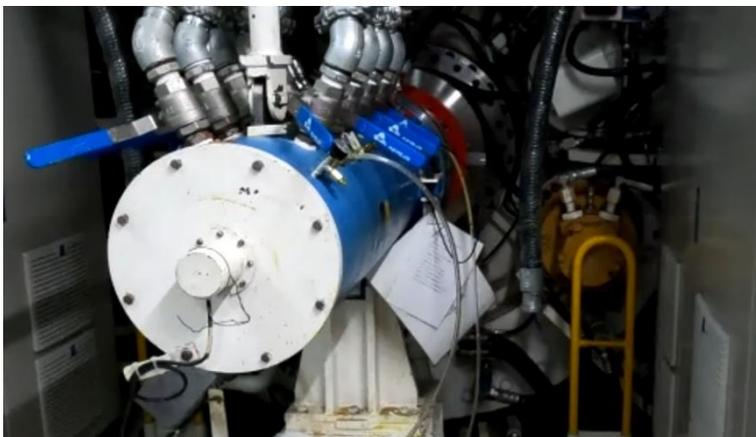
【ベルトコンベアー】



【発進立坑（地上から）】



【シールドマシン内部】



<本件に関するお問合せ先>

本社 広報戦略課 TEL 045-222-9101



ウェブサイト



YouTube  
公式アカウント



Twitter  
公式アカウント